

科目名「 臨床行動科学 」

| | | |
|----------------------|--|-------|
| 学年 | 学期 | 科目責任者 |
| 2 | 前 学期 | 内田 貴之 |
| 科目ナンバリング | A-1-②-I-04 | |
| 単位数 | 1 | |
| 学修目標 (GIO) | <p>歯科医療の構造は、慢性疾患、すなわち、う蝕・歯周疾患・口腔機能不全が中心である。国民が健全な生活をおくるために、より早い段階で治療を施し、重症化を防ぐという予防的役割も担っているが、過剰なまでの診療による方策ではなく、各ライフステージに応じた歯科医療のアウトカムを認識した上で、治療そのものを展開させる必要がある。現在では、患者サイドとして患者自身による健康に対する行動変容を意識すること、そして医療者は保健指導による支援が重要な役割をはたす時期を迎えていることを理解すべきである。そこで、患者の行動メカニズムを知るためには、行動科学、心理学、認知科学、コミュニケーション学、情報科学、教育学などの関連領域を統合した「臨床行動科学」を学ぶ必要がある。</p> <p>本講義は、歯科衛生士として歯科医師の活動を援助、また協働するために必要な歯科の知識・技能・態度、特に診療録の記録、歯科医療の流れ、診察の基本的な情報収集、患者心理そして患者とのコミュニケーション、さらに患者の行動変容を促す「動機づけ面接法」について修得することを目指している。</p> | |
| 担当教員 | 内田貴之、多田充裕、青木伸一郎、桃原 直、岩橋 諒、西林亜州香 | |
| 教科書 | 指定なし。プリントを配布する。 | |
| 参考図書 | <p>「歯科医療面接アートとサイエンス」伊藤孝訓編著、砂書房 「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」伊藤孝訓、寺中敏夫編著、クインテッセンス出版 「歯科衛生ケアプロセス」佐藤陽子 他、医歯薬出版</p> | |
| 評価方法 (EV) | 成績評価は、試験 (80%)、レポート (10%)、講義・演習中の態度 (10%) を勘案し総合的に判断する。なお、平常試験の結果に応じて、レポート提出・補講などの措置を講じることがある。 | |
| 学生へのメッセージ オフィスアワー | <p>時期尚早と捉えがちであるが、将来になる歯科衛生士という職業を意識して、できるだけ興味を抱いて講義・演習に参加していただきたい。 歯科医師の実務経験を生かして、臨床と学理に基づき、臨床行動科学ををわかりやすく解説する。</p> | |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容 | 担当教員 |
|-------------------------------|-------|--|-------|
| 第1回 4/11(月) 10:50-12:20 | ガイダンス | <p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 (1) 臨床行動科学を概説できる。 (2) 歯科医療の特性を説明できる。 (3) 歯科患者と医療者の関係を説明できる。 (4) プロフェッショナリズムを説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：医科と歯科の専門性の違いを理解できる。 復習時間：60分、復習内容：医科と歯科の専門性の違いを説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> | *内田貴之 |

| | | | |
|--|-------------------------|--|-----------------|
| <p>第2回 4/18(月) 10:50-12:20</p> | <p>歯科衛生診断と歯 科診断</p> | <p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 (1) 歯科衛生診断と歯科診断の相違を説明できる。 (2) 歯科衛生ケアプロセスにおける歯科衛生診断の意義を説明できる。 (3) アセスメントを評価できる。 【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容：歯科衛生士と歯科医師の違いを理解できる。 復習時間：60分、復習内容：歯科衛生士と歯科医師の違いを理解できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>* 多田 充裕</p> |
| <p>第3回 4/25(月) 10:50-12:20</p> | <p>診療録(POMR)</p> | <p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 (1) 診療録の目的・構成を説明できる。 (2) POSの概念を説明できる。 (3) POMRについて説明できる。 (4) 診療録の基本的構成を列挙できる。 (5) 問診票の役割と意義を説明できる。 【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容：患者データの記録の仕方を理解できる。 復習時間：60分、復習内容：患者データの記録の仕方を説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>* 西林 亜州香</p> |
| <p>第4回 5/2(月) 10:50-12:20</p> | <p>診察</p> | <p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 (1) 主訴の定義を説明できる。 (2) 現病歴の定義と基本的な記載を説明できる。 (3) 既往歴・家族歴を説明できる。 (4) 現症・診査所見を説明できる。 【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容：各種診察法を理解できる。 復習時間：60分、復習内容：各種診察法を説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>* 桃原 直</p> |

| | | | |
|--|---------------------|--|--------------|
| <p>第5回 5/9(月) 10:50-12:20</p> | <p>歯科患者の心理</p> | <p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 (1) 歯科患者特有の心理状況を説明できる。 (2) 歯科特有のストレスを説明できる。 【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容：歯科を訪れる患者の心理状態を理解できる。 復習時間：60分、復習内容：歯科を訪れる患者の心理状態を説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*多田充裕</p> |
| <p>第6回 5/16(月) 10:50-12:20</p> | <p>コミュニケーションの基本</p> | <p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 (1) コミュニケーションスキルを説明できる。 (2) 異文化コミュニケーションを説明できる。 (3) 「聴く」スキルを説明できる。 (4) 「質問する」スキルを説明できる。 (5) 「伝える」スキルを説明できる。 【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容：コミュニケーションの役割を理解できる。 復習時間：60分、復習内容：コミュニケーションの役割を説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*多田充裕</p> |
| <p>第7回 5/23(月) 10:50-12:20</p> | <p>医療コミュニケーション</p> | <p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 (1) 患者と医療者の関係を概説できる。 (2) 医療環境の特殊性を説明できる。 (3) 効果的な会話をするには、どのようなことが必要か説明できる。 (4) 非言語的コミュニケーションの種類とその効果的な活用を説明できる。 【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容：医療現場の特殊性を理解できる。 復習時間：60分、復習内容：医療現場の特殊性を説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*桃原 直</p> |

| | | | |
|---|--|---|---------------|
| <p>第 8 回 5/30(月) 10:50-12:20</p> | <p>医療面接の基本</p> | <p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 (1) 医療面接の目的と意義を説明できる。 (2) 医療者の態度を説明できる。 (3) 来院患者における歯科教育の必要性を説明できる。 【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容：問診と違う点を理解できる。 復習時間：60分、復習内容：問診と違う点を説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*岩橋 諒</p> |
| <p>第 9 回 6/6(月) 10:50-12:20</p> | <p>メディカル・コーチング</p> | <p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 (1) メディカル・コーチングを説明できる。 (2) 「効果的な患者指導」を説明できる。 (3) コーチングのプロセスを説明できる。 【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容：患者本位の行動を理解できる。 復習時間：60分、復習内容：患者本位の行動を説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>*内田貴之</p> |
| <p>第 10 回 6/13(月) 10:50-12:20</p> | <p>平常試験 および 解説講義</p> | <p>これまで行われた講義内容に関する形成的評価を目的とした平常試験</p> | <p>*内田貴之</p> |
| <p>第 11 回 6/20(月) 10:50-12:20</p> | <p>患者-医療者シミュレーション (1) シナリオ作成</p> | <p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 (1) 患者-医療者シミュレーションを説明できる。 (2) ロールプレイの目的を説明できる。 (3) ロールプレイの有効性を説明できる。 【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容：ロールプレイを理解できる。 復習時間：60分、復習内容：ロールプレイを説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 有 「グループワーク」 【学修方略 (LS)】 演習 SGD(スモールグループディスカッション)</p> | <p>*青木伸一郎</p> |

| | | | |
|---|---|---|----------------|
| <p>第12回 6/27(月) 10:50-12:20</p> | <p>患者-医療者シ ミュレーション (2) シナリオ作成</p> | <p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 (1) 情報を収集分析し、問題点を探し出すことができる。 (2) ケースに応じたシナリオを作成できる。 (3) シナリオの評価ポイントを説明できる。 【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容：シナリオの構成を理解できる。 復習時間：60分、復習内容：シナリオの構成を説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 有 「グループワーク」 【学修方略 (LS)】 シミュレーション演習 SGD</p> | <p>* 青木伸一郎</p> |
| <p>第13回 7/4(月) 10:50-12:20</p> | <p>患者-医療者シ ミュレーション (3) ロールプレイ練習</p> | <p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 (1) 演技のポイントを説明できる。 (2) シナリオを適時修正することができる。 【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容：必要な演技を理解できる。 復習時間：60分、復習内容：必要な演技を概説できる。 【アクティブラーニングの有無】 有 「グループワーク」 【学修方略 (LS)】 シミュレーション演習 SGD</p> | <p>* 青木伸一郎</p> |
| <p>第14回 7/11(月) 10:50-12:20</p> | <p>患者-医療者シ ミュレーション (4) ロールプレイ練習</p> | <p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 (1) ロールプレイを実施できる。 (2) ロールプレイの演技を評価できる。 【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容：必要な演技を説明できる。 復習時間：60分、復習内容：必要な演技ができる。 【アクティブラーニングの有無】 有 「グループワーク」 【学修方略 (LS)】 シミュレーション演習 SGD</p> | <p>* 青木伸一郎</p> |
| <p>第15回 7/25(月) 10:50-12:20</p> | <p>患者-医療者シ ミュレーション (5) 発表</p> | <p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 (1) 患者心理と行動の特性を説明できる。 (2) 自己評価の重要性を概説できる。 (3) 批判的思考を説明できる。 【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容：適切な発表をできる。 復習時間：60分、復習内容：説得力ある発表をできる。 【アクティブラーニングの有無】 有 「グループワーク」 【学修方略 (LS)】 シミュレーション演習、プレゼンテーション SGD</p> | <p>* 青木伸一郎</p> |